



報道機関各位

熊本大学

公開シンポジウム「日本の生命科学が国民の健康に果たす役割」を開催

この度、日本学術会議第二部 及び 熊本大学では、「日本の生命科学が国民の健康に果たす役割」をテーマとして、下記のとおり公開シンポジウムを開催いたします。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方よろしく願います。

記

【開催日】 平成23年 8月27日（土）12：45～16：10

【会場】 くまもと県民交流館パレア 10F パレアホール

【対象者】 一般の方（どなたでも参加できます）

【定員】 250名（定員になり次第締め切りとさせていただきます）

【参加費】 無 料

【主催】 日本学術会議第二部、国立大学法人熊本大学

【後援】 日本医歯薬アカデミー、熊本県、熊本市、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、RKK、KAB、KKT、TKU

※詳細は別添チラシのほか本学HPからもご覧いただけます。

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/whatsnew/event/event1389.html>

【お問い合わせ先】

熊本大学 マーケティング推進部
研究推進ユニット総務企画担当 井上、児島
Tel:096-342-3242 / Fax: 096-342-3149
E-mail: gjk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

日本の生命科学が

国民の健康に果たす役割

地震・津波という天がもたらした災い、そして原子力発電所で引き続いて起こった人がもたらした災い。日本で起こった「3.11」として語り継がれる未曾有の災いは、日本と世界の現在と未来のあり方に大きな衝撃を与えています。総人口が70億に達するという世界は、地球温暖化・エネルギー危機・食糧危機・感染症と難病・環境破壊と、難問を抱えたままで、私たちに解決の糸口は掴めていません。しかし、そのような山積する難問への真の対応には、生命科学を始めとした「科学」という力がどうしても必要です。

日本学術会議第二部会は熊本大学との共催で、生命科学の各領域を代表する科学者が一堂に会するシンポジウムを「水と森の都」熊本市で開催します。日本という「足元」で「日本の生命科学」が「日本国民の健康」に果たすべき役割、そして世界が抱える難問への対応について、「日本の科学者」の展望や提言を基に、多くの市民の皆様とともに考えたいと思います。

公開シンポジウム

- 1 開会挨拶 12:45**
広渡 清吾 日本学術会議会長・専修大学法学部教授
谷口 功 日本学術会議連携会員・熊本大学長
- 2 基調講演 13:00**
「レトロウイルス感染症：日本と世界」
高月 清 熊本大学名誉教授
- 3 講演 13:30**
「日本のライフサイエンスのマスタープラン」
浅島 誠 日本学術会議第二部部長・産業技術総合研究所フェロー兼幹細胞工学研究センター長
「食品の安全と国民の健康」
唐木 英明 日本学術会議副会長・東京大学名誉教授
「さとやま：生物多様性と生態系模様」
鷺谷 いづみ 日本学術会議第二部会員・東京大学大学院農学生命科学研究科教授
休憩(15分)
「社会システムとしての医療の将来像」
桐野 高明 日本学術会議第二部会員・国立国際医療研究センター総長
「放射線被ばくと健康」
大野 和子 日本学術会議特任連携会員・京都医療科学大学教授
「新興感染症と国民の健康」
満屋 裕明 日本学術会議第二部会員・熊本大学大学院生命科学研究部教授
「生体肝移植の最前線」
猪股 裕紀洋 熊本大学医学部附属病院院長・大学院生命科学研究部教授
- 4 閉会挨拶 16:05**
満屋 裕明 日本学術会議第二部会員・熊本大学大学院生命科学研究部教授

開催日時 平成23年8月27日(土) 12:45~16:10

会場 くまもと県民交流館 パレア

熊本市手取本町8番9号
テトリアくまもとビル10F
パレアホール
☎096-355-4300

対象者 一般の方
(どなたでもご参加できます)

定員 250名

参加費
無料

《参加申込み方法》

①FAXによる参加申込み

チラシ裏面の「公開シンポジウム参加申込書」に必要事項をご記入の上、次のFAX番号にお送りください。 FAX番号 096-342-3149

②電子メールによる参加申込み

メール件名を「公開シンポジウム参加申込み」とし、メール本文に参加者の「氏名」、「所属(法人・企業名等)」、「連絡先(電話番号)」をご記入の上、次の電子メールアドレスにお送りください。

電子メールアドレス gjk-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp